

◆第2回ワークショップでの意見

※抜粋です

市：札幌市豊平区土木部 公：西岡公園管理事務所

【湿原を巡るルート】

- ・湿原散策のルートは、気軽に楽しめる短いコースと、ゆっくりと湿原を観察できる長めのコースなどが選べると良い。
- ・木道にまで柵は必要ないのではないか。
- ・公園内で転落事故等が心配される場所には柵が必要となります。木道であっても事故の恐れがある場合は柵を設置します。(市)



【湿原東側の木道】

- ・湿原東側の水辺にはミズバショウの見どころがある。
- ・湿原東側の古い木道に沿って流れている川は、流れる位置や水深が変化するので、通行する時には注意が必要。
- ・自己責任ということで、今ある木道が朽ちるまで利用してはどうか。
- ・子供から高齢者まで訪れる都市公園では、いつ壊れるか分からない木道をそのままにしてはおけません。(市)
- ・最優先に考えることは、公園内で事故が起こらないようにすることだと思う。
- ・川から少し離れて、東側の斜面に散策路(陸路)を設けるというはどうだろう。
- ・東側の斜面には希少な植物が分布している場所もあり、むやみに人が踏み入れない方が良い。
- ・水辺から離れる道であれば、湿原を巡る散策路としてはあまり意味がない。
- ・この辺にいる色々な昆虫を、子供たちに見せてあげたい。
- ・通路は設けなくとも、届出制にして湿原に入ることができるというルールにしてはどうか。
- ・現在も、調査等の目的で湿原に入る場合は、管理事務所に報告をしてもらっている。(公)
- ・皆さんの意見を参考に、次回ワークショップまでに木道東側ルートのあり方を整理しておきます。(市)



【親水について】

- ・水源池には柵が回されていて、水に触れられない状態になっている。
- ・元々水道(飲用)の水源池であったため、親水用の池の形状になってしまっています。(市)
- ・水深は2.0m~3.5mほどあり、場所によっては急に深くなっているので危険。
- ・池の下流にある小川で遊べるので、池で水に触れられなくとも良いと思う。

【舗装材】

- ・ここは自然豊かな公園なので、カラーの舗装材は選ばないでほしい。

【自由広場】

- ・東側の明るい芝生の広場スペースに、遊具やトイレを置いてはどうか。
- ・今も遠足やピクニックに使われている雰囲気の良い場。クワガタが捕まえられたり、サクラの花見の場にもなっているので、これまで良いと思う。

【築山】

- ・これは提案ですが、築山を取り除いて広場にした方が使い勝手が良いということはありませんか。(市)
- ・鳥の目線で樹木の上部が見られる場所であり、このまま残した方が良い。
- ・ここに広場をつくるより、駐車場横にある芝生の広場の水はけを良くするなど、既存の広場を使いやくする方が優先だと思う。

【駐車場】

- ・駐車場の改善が必要。特に、区画線が分かりづらく、車の止め方もだらしなくなっている。

ご参加頂いた皆様、たくさんのご意見をありがとうございました。

■西岡公園のリニューアルに関するお問い合わせ

札幌市豊平区土木部維持管理課公園緑化係 (担当：中村 電話 851-1681)
北海道造園設計株式会社 (担当：佐藤、佐々木 電話 758-2261)

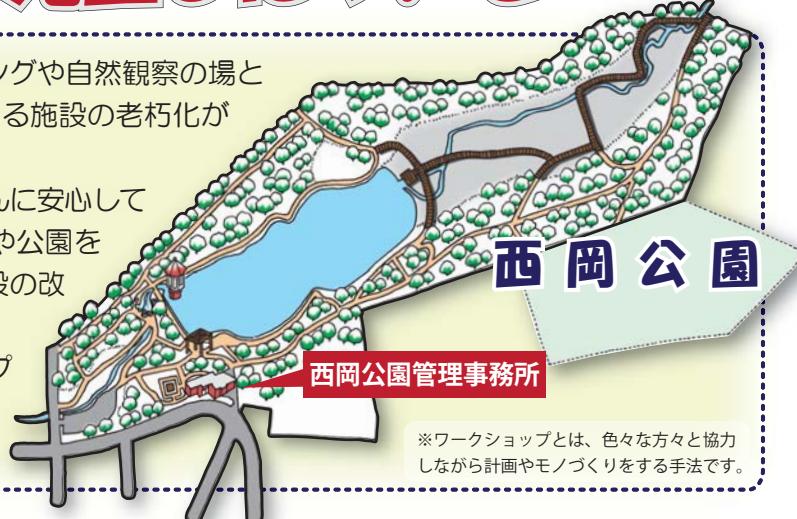
西岡公園リニューアル通信

木道や施設の見直しについて

西岡公園は、水辺の公園としてバードウォッチングや自然観察の場として親しまれていますが、近年、木道をはじめとする施設の老朽化が進んでいます。

こうした状況から、札幌市では今後も市民の皆さんに安心して西岡公園を利用して頂くため、近隣にお住いの方や公園を利用している皆さんから意見をうかがい、公園施設の改修計画を策定することにしました。

そこで、現地観察会を含め、3回のワークショップ(※)を開催しますので、関心のある方はぜひご参加ください。



◆第2回ワークショップが開催されました

西岡公園の改修計画づくりに向けた第2回ワークショップ「公園の問題を考えよう！」が12月9日土曜日に開催され、近隣にお住いの方や、西岡公園をよく利用されている方18名にご参加いただきました。

最初に設計会社の担当者から今回のワークショップに至るまでの説明があり、続いてプロジェクトで改修計画のたたき台となる「素案」が紹介されました。その後、素案をもとに1時間程度、会場に訪れた皆さんと意見交換を行いました。



第2回ワークショップの様子

◆今後のスケジュール

第1回ワークショップ
現地見学会(平成29年10月14日)
みんなで公園を見てみよう！

第2回ワークショップ
意見交換会(平成29年12月9日)
公園の問題を考えよう！

第3回ワークショップ
報告会(平成30年2月17日)
改修後の公園を紹介します

事業スタート
設計：平成30年度～

◆第3回ワークショップのご案内

テーマ：改修後の西岡公園を紹介します！

これまでのワークショップをもとに作成した西岡公園の将来像について確認をして頂きます。

☆日 時：2月17日(土)午前10:00～12:00

☆会 場：西岡公園管理事務所

注1 事前の予約は不要です。直接会場にお越しください。

注2 車でお越しの方は、公園北側の駐車場をご利用ください。



◆第2回ワークショップの内容

今回のワークショップでは、主に西岡公園の「改修の目標」や「計画の方針」について意見交換を行いました。

1) 改修の目標：利用者の動線(人の流れ)に沿った施設の改修を行う

西岡公園の利用者の移動や滞在といった“人の流れ”を整理した上で、利用度の高いものや、重要性のあるものから優先的に改修を行うこととしました。

2) 具体化に向けた方針

- ・バリアフリー動線を確保するためスロープを設置します。 (①)
 - ・主動線となる木道の配置と構造を見直します。 (②)
 - ・主動線沿いの施設（あずまや・ベンチ等）は更新します。 (①②)
 - ・補助動線沿いの施設は縮小、又は廃止を基本とします。 (③)
 - ・施設の改修にあたっては、西岡公園らしい景観や歴史の継承に配慮します。

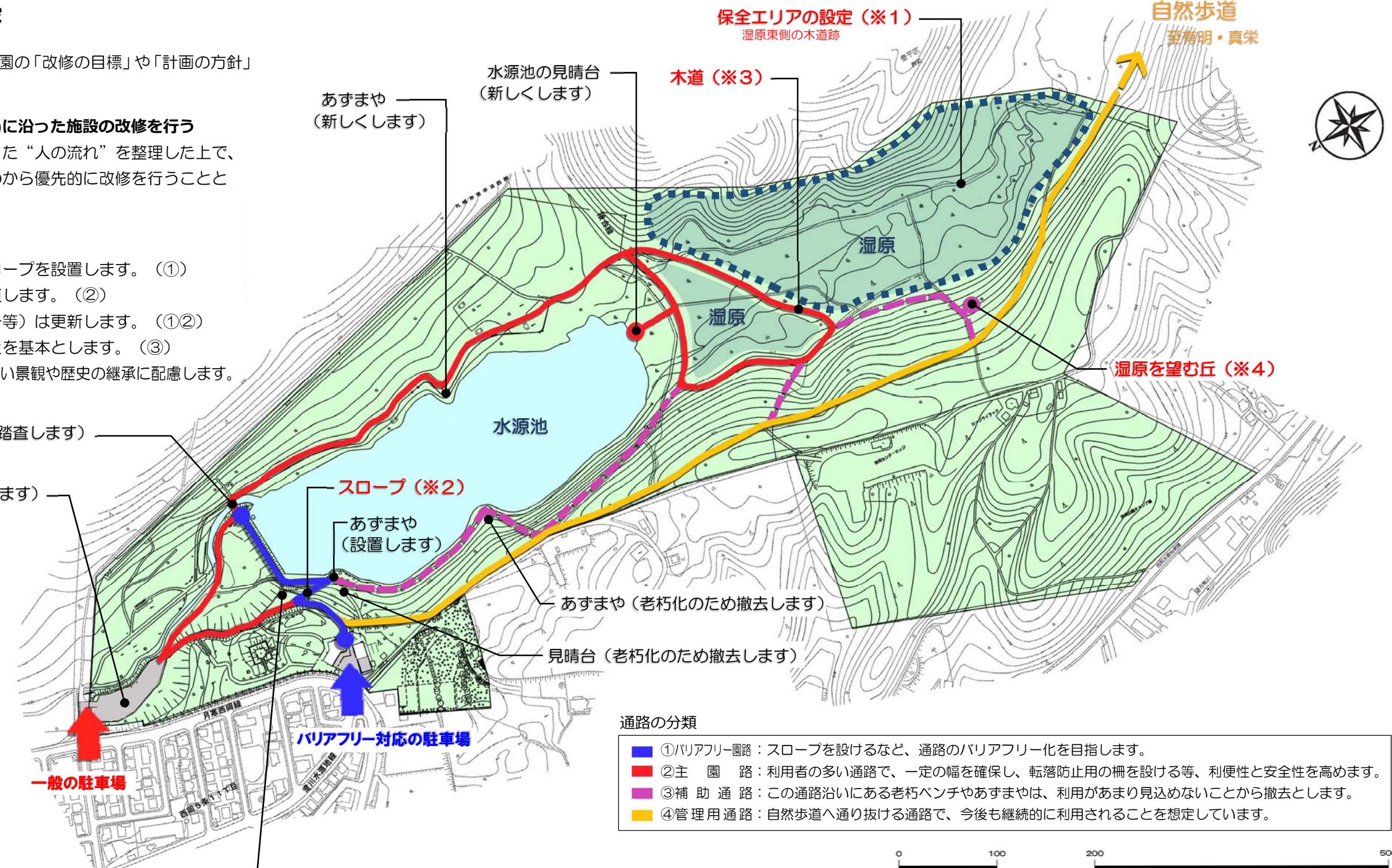


このエリアは、西岡の自然環境の保全・再生の目的と、川の流れが不規則で危険な場所もあることなどから、利用を制限する「保全エリア」とします。また、調査等の目的で湿原内に入る場合も、公園管理事務所への届出が必要となります。

スロープ(※2)



水源池と取水塔は、西岡公園の代名詞ともいえる施設ですが、現状の階段や急な坂道では車椅子等で近づくことが困難な状況となっていました。そこで今回の改修では、スロープを設ける等、公園のバリアフリー化を進めることとしました。



木道(※3)



設置から約40年経った木道は老朽化が著しく、安全面にも問題が生じています。そこで、今回の改修計画では、新しい木道に交換することに加え、転落防止用の柵の設置や、川の浸食の影響が少ない場所に木道を移動する等、総合的な対策をとります。

湿原を望む丘（※4）



これまで、水源池を眺める場所はありましたが、高い位置から温原を望められる場所はありませんでした。そうした中、今回ワークショップでは「少し斜面に上がって木を開けば温原が見渡せる」というご意見を頂き、計画づくりに取り入れてみました。